

配慮・工夫すべき検討事項の抽出方法（案）について  
（アンケート調査による利用実態、ニーズ等の把握）

---

平成29年 2月28日

高知県土木部港湾・海岸課

国土交通省四国地方整備局

# 配慮・工夫すべき事項の抽出のためのアンケート調査

## ◆ アンケート調査の目的

- 重点的に検討を要する地区として選定した桂浜地区および種崎地区については、周辺住民以外に様々な利用者が訪れるとともに多様な利用形態となっているため、それらを考慮した配慮・工夫すべき事項の抽出が必要である。
- こうした地区の特性をふまえた、様々な海岸利用者におけるニーズ把握のためアンケート調査を実施。

## ◆ 平成29年度におけるアンケート調査について

- 地震津波対策の事業を行ううえでの利用面・景観面に対する要望などの把握については、地震津波対策の断面検討をふまえ実施する必要がある。平成29年度は種崎地区において、現況の利用実態、景観・防災に対する意識や関心事項について、利用者および周辺住民等の方々を対象に実施する。
- 桂浜地区については、東浜への立ち入りや桂浜公園全体の眺望場の活用などについて、高知市と調整を行ったうえで利用者等のニーズ把握を行う。

# 平成29年度 アンケート調査の方法について

## ◆ アンケート対象者および調査方法

- 海岸利用者、地域住民等に分け、以下のとおり実施する。
  - 利用者：直接対面聞き取り、もしくは記入依頼にて実施。
  - 周辺住民等：種崎千松公園近隣にお住まいの方々のほか、高知市にお住まいの世帯を対象に実施。
  - サンプル数は400枚程度を目標。(アンケート配布数 8,000程度)

## ◆ アンケート実施時期

- キャンプや海浜利用など利用者数が多い夏季に実施。

## ◆ アンケートの主な内容

- 現況における利用実態、景観・防災に対する意識や関心事項について、以下の内容を中心にアンケートを実施する。

### ○ 利用実態、課題

- 利用頻度
- 同行者の有無や形態
- 利用目的、良く利用する施設や場所
- 現状における利用上の課題・要望

### ○ 景観に対する意識、関心

- 好ましい。大切にしたいと考える景観
- 現状で景観が阻害している要素
- 現状における景観改善のための課題、要望

### ○ 防災に対する意識、関心

- 津波避難ビルなどの認知度
- 海岸からの避難経路の認知度
- 避難にあたっての障害の有無、課題